

# 通貨毎の特徴を分類をする

あくまで最近までの傾向での分類であり、相場テーマや時間経過で変質します

---

## リスクオン

- ①主要通貨・・・ドル、ユーロ
- ②金利着目・・・豪ドル、NZドル

## リスクオフ

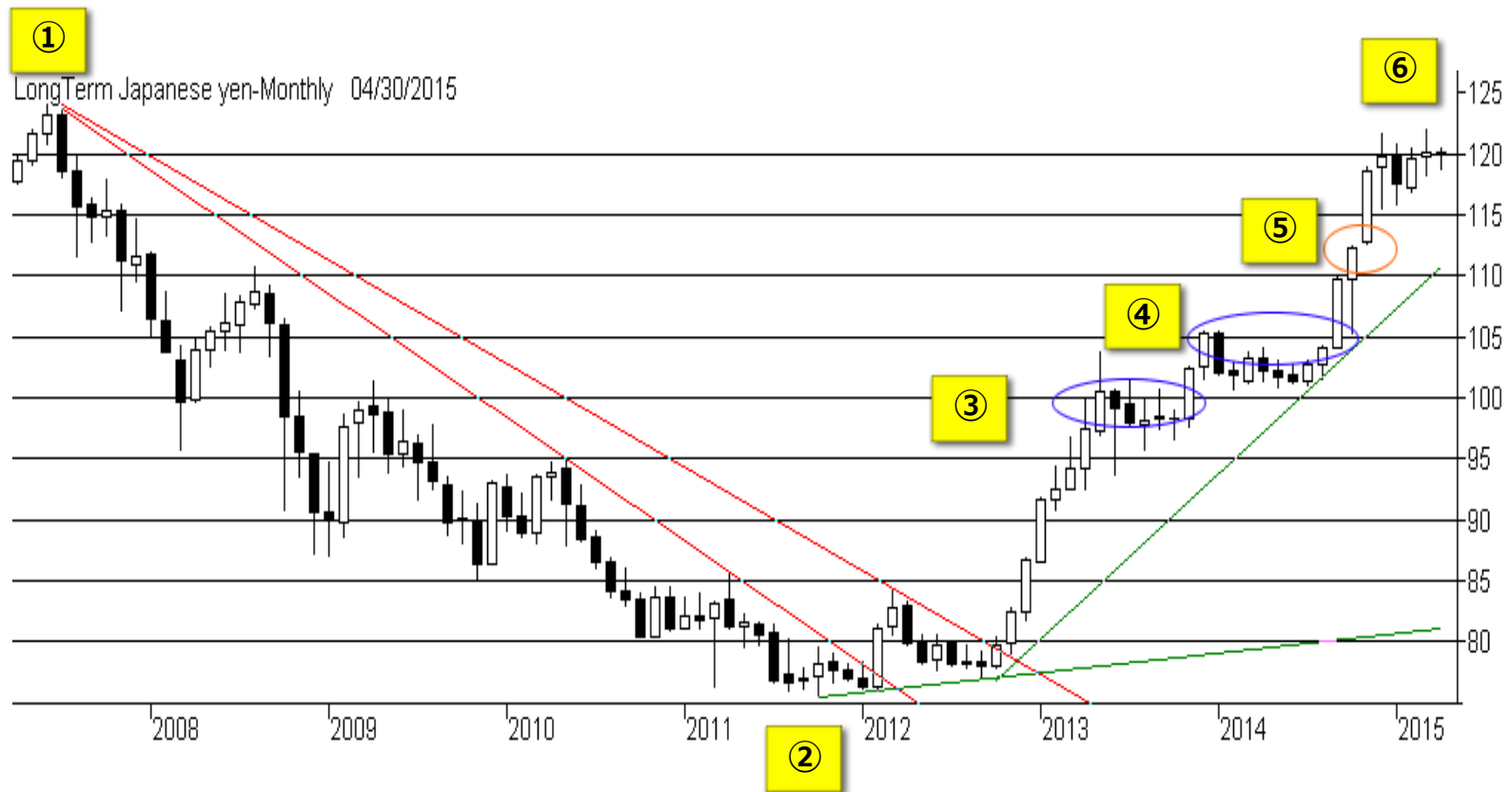
- ③円とスイスフラン

## 新興国通貨で高金利

- ④トルコリラ
- ⑤メキシコペソ
- ⑥南アランドなど

# ドル高トレンド後の上昇幅も目安として計算可能

(①2007年高値124円、②2011年安値75円で値幅49円、③半値戻し=100円絡み、④61.8戻し=105円30銭絡み、⑤76.4戻し=112円45銭絡み、⑥2015年4月に全戻し)



# (1)リスクオフ通貨から見た買い場の確認①

ユーロ/円は2016年11月に上抜け、その後は115円まで下押し。  
結果的に今年の4月に上抜け後の上昇が早い



## リスクオフ通貨から見た買い場の確認②

ユーロ/スイスは2017年4月に初めて上抜け確認。  
両通貨の比較でいつ買ったら良いかを見極め



## 豪ドル/NZドル

ほぼ7年に亘り、パリティまで来た豪ドル安NZドル高が①の抵抗線を上抜け、現在は②と③に挟まれたレンジで豪ドル高に。上値抵抗線の1.1250NZドル越えをできるか？



## リスクを覚悟の上、中長期ポジションで保有する場合に高金利通貨とどの様に向き合うか。

---

レバレッジは通常3～5倍程度とし、資金の流動性を保つ(予めポジション総額を決めておく。増やしたい場合は証拠金の積み増し)

一度に買わず小まめにポジションメイクする。・・・ナンピンは直近に買ったレベルよりも安い水準で買う。 中長期トレンドが反転した場合には買い上がる方針に切り替え

ある程度ポジションを抱えて、スポット相場が上昇したら、持ち値高いポジション＋スワップ含めた利益が最小のものから手仕舞いする。・・・マネージしやすいポジションになったら、ストップを置いて放置。

あくまで時間軸効果を狙った取引であることを念頭におき、欲張らずに長期を見据えて、懐深くディールする

長期に亘り売られ過ぎている通貨を選択する。

# リスクを理解する

---

流動性がないことを理解する

政治・経済リスクがたかい・・・金利やファンダメンタルズの激変もあり得る

高金利通貨は何故高金利なのかを理解する・・・国内経済を圧迫する要因でありながら、資金を呼び込む

安定求めて通貨が変わるリスクもある・・・(例)現状では可能性少なくなかったが、トルコリラはユーロ加盟を求めている。

# 例えばトルコリラ/円

10年に亘る円高トレンド。①と②の3角保合い下抜けはフラッグパターンでほぼ達成。③の抵抗線抜けで安定基調。トレンド自体は①を抜けない限り、リラ安トレンドを継続中



# 当面の先進各国の相場材料

---

(米国)・・・既にドル買いには織り込んでいる可能性高く、どちらかと言えばドル売り材料になり易い

9月にFRBは資産縮小を打ち出せるか

12月にFRBは利上げできるか

9月の米国債務上限引き上げ(デッド・シーリング)問題・・・これを含めてトランプ政権の混迷

異常なほどの長期間株高・・・継続できるか

(ユーロ)・・・欧州圏経済については引き締め気味になりそうだが、ドイツ対ドラギに構図

9月にECBが緩和縮小を打ち出すか

ドイツの選挙はメルケル首相が勝てるか

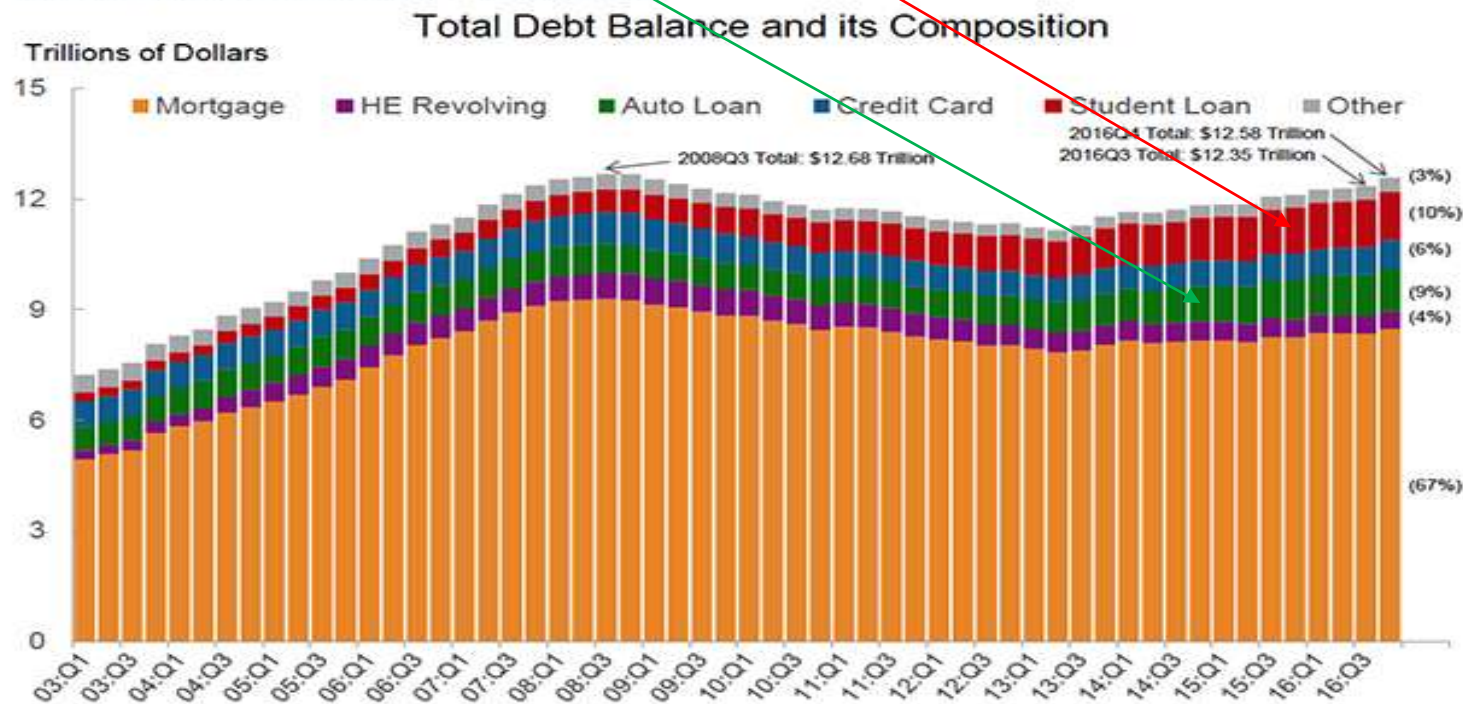
(日本)・・・打つ手が次第になくなり、円高材料が増えている

貿易黒字の問題

量的緩和の限界

アメリカ人の負債がリーマンショック前を越える  
自動車と学生ローンが急増(特に学生ローンは高齢者が資格取得でローンしながら大学へ)  
(出所:NY連銀)

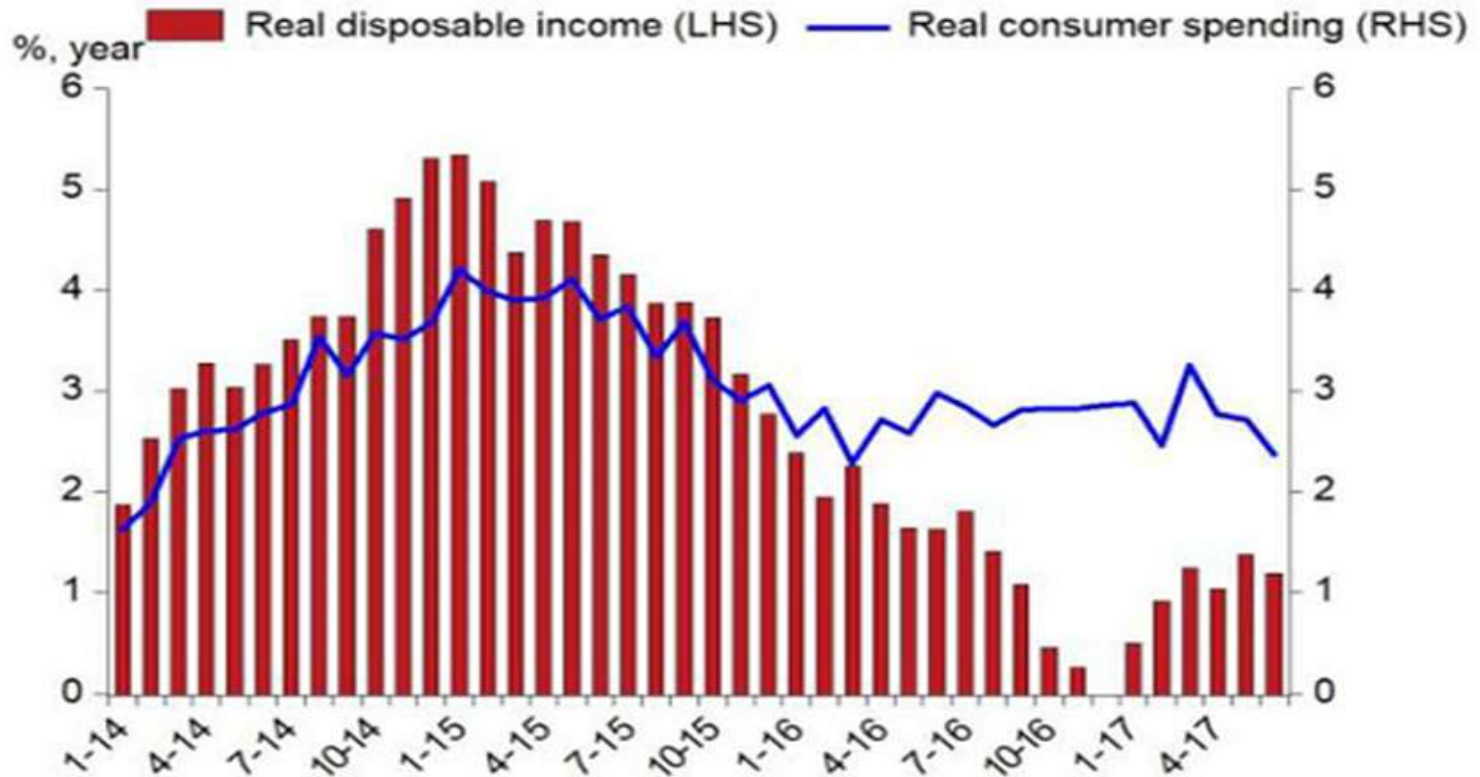
## More Americans are taking on auto and student loans



Source: New York Fed Consumer Credit Panel/Equifax

米国の実質可処分所得(棒グラフ)の減少と実質消費支出  
(青の折れ線)横這い・・・貯蓄を削って消費  
(出所:Oxford経済研究所)

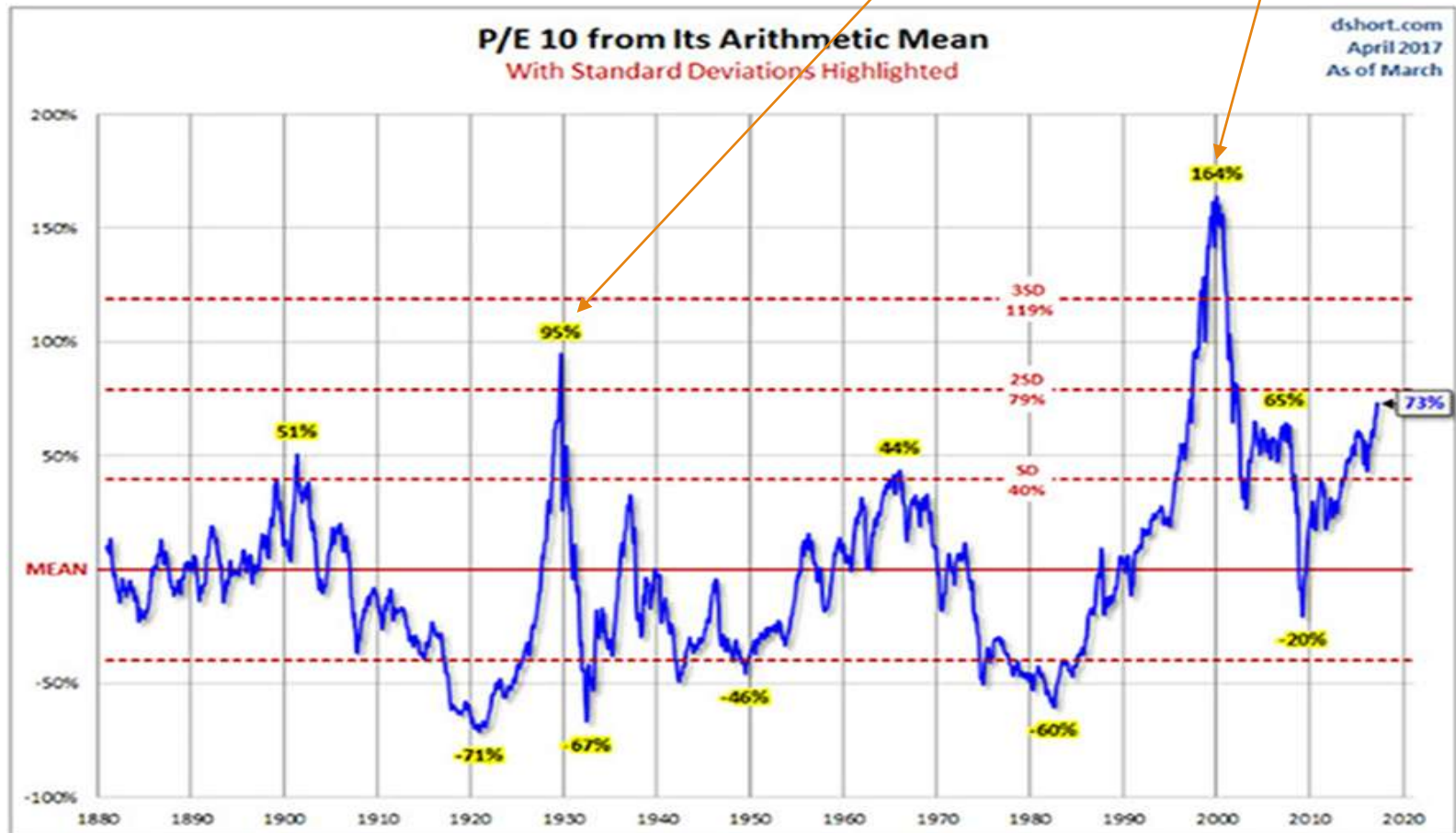
### US: Spending within their means?



Source: Oxford Economics/Haver Analytics

S&P500・PERの歴史的水準。過去の平均バリュエーションを計算して、現在の位置を示したもの。

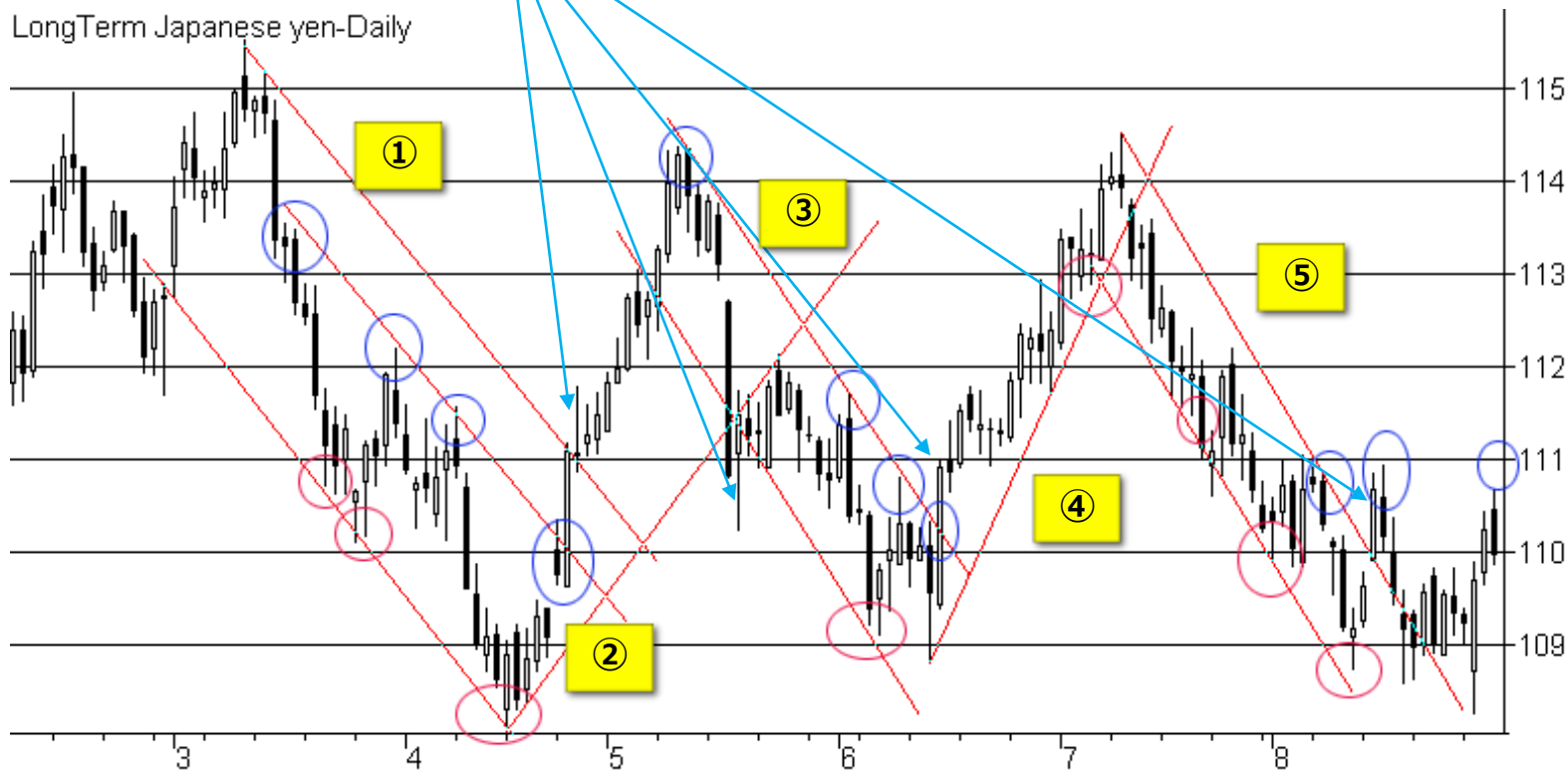
現在の株高より高かったのは過去に2回のみ。1回は大恐慌。もう1回はITバブル崩壊のみ。今回はどうなるか？...中銀がQEステロイドを止めた場合はどうなるか？誰も先は解らない。(出所: MarketWatchから)



# 利益の拡大化狙うには両建て…慣れるまでお勧めできません

青は売り、赤は買い。

①③⑤の下落トレンドの時、赤でポジション半分程度、両建てロングし、戻り高でロング手仕舞い。②④はその逆。ロスカットを忘れずに



## ジョージソロスの名言

---

- “Markets are constantly in a state of uncertainty and flux, and money is made by discounting the obvious and betting on the unexpected.”
- **「市場は絶えず不確実性や変化の中にいる。お金は事実が出たら割り引いて考え、予想つかないものに賭けると儲かるものである」**

### <リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

### <注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562